

活カづくり

令和 8 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|---|------------|-----------------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活力づくり | 施策 | 1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出 | |
| 施策の将来の目標像 | 大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 4大学との連携事業数(審議会委員等を除いたもの) | 97件/年 | 105件 | 123件/年 |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|--------------------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実 | 主管部局・所属 | 総務部 経営戦略チーム |
| 関係部局・所属 | | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|---|------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | 大学の知を社会につなぐイノベーション・エコシステムの構築 | 現状 | 大学と市が一体となったまちづくり推進体制の強化が必要 | |
| 課題 | | 仮説に基づく戦略 | 寄与度 | 戦略No. |
| 大学の特色を活かした地域社会課題解決に向けた取組みの具体化が明確になっていない | | イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ(拠点)づくり | 中 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|--|-------------|----------|----|----|----------------------|----|
| | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) スマートシティ共創コンソーシアム内のプロジェクト件数(計画期間累計) | 8 (R5) | 15 | 18 | 21 | 30 (R12) | 件 |
| (4) | () | | | | () | |
| (4) | () | | | | () | |

上段：目標値
中段：実績値
下段：達成率

5 コスト情報

| 目的別事業群事業費 (千円) | R 7 年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|-------------------|--------------|---------|--|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| | | 115,161 | | | | |
| | | 232 | | | | |
| | R 8 年度 | 117,240 | | | | |
| | | 15,240 | | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|------------------------------|---------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 2・1・7 Town&Gownプロジェクト推進事業 | 経営戦略チーム | 1.70 | 115,161 | 117,240 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 1.70 | 115,161 | 117,240 |

| | | |
|--|---|----------------|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。 | | |
| 差額 | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | |
| 平均達成率 | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的 要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |
| 10 総合評価 | | |
| 総合評価 | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | |
| 課題 | | 課題を踏まえた今後の取組方針 |
| | | |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|-----------------------|--------------------------------|
| 4 活力づくり | 1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出 | ① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実 |

| 事業の概要 | | | |
|-------|-------------------------------|---------------|----------------|
| 戦略 | 1 イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ（拠点）づくり | 予算 117,240 千円 | 前年度 115,161 千円 |
| 事務事業 | 1-1 Town&Gown プロジェクト推進事業 | 予算 117,240 千円 | 前年度 115,161 千円 |

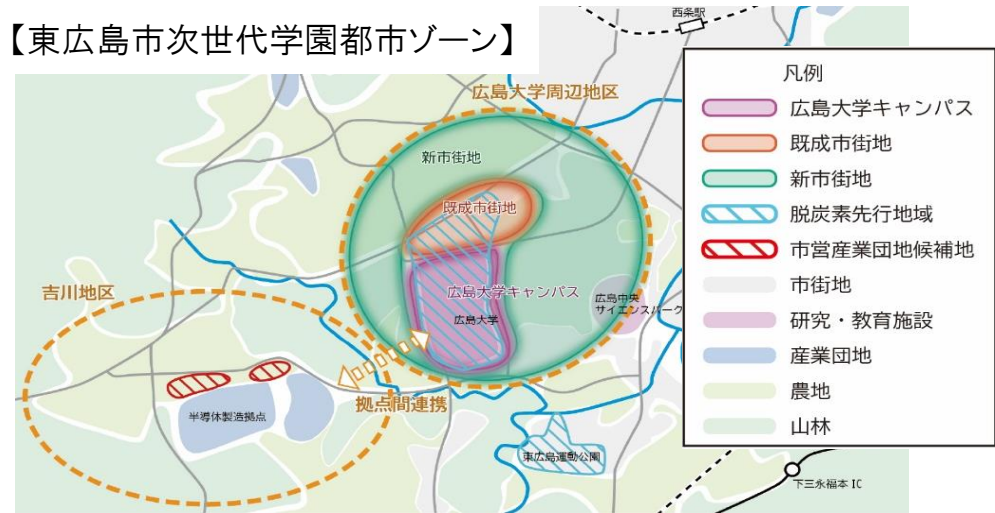
内容

1-1_Town&Gown プロジェクト「次世代学園都市構想に基づく新たなまちづくり」

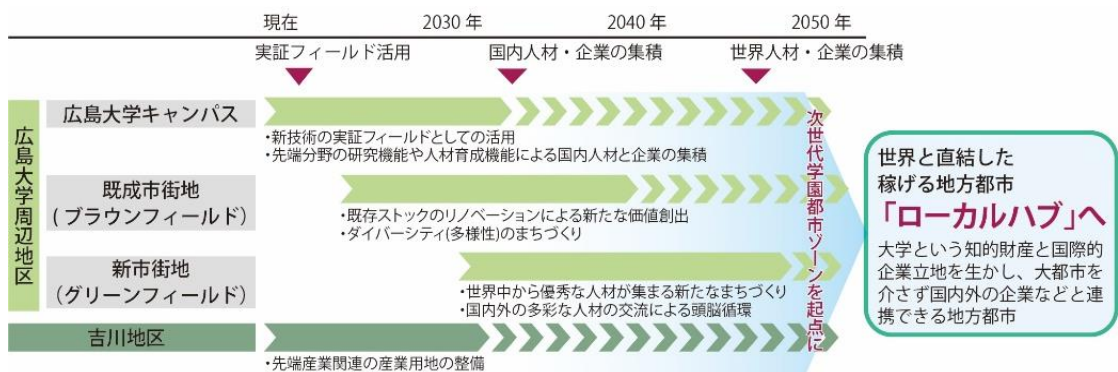
① 次世代学園都市構想に基づく事業展開(17,240 千円(前年度 15,161 千円))
 「次世代学園都市ゾーン」として、広島大学周辺地区及び半導体企業が立地する吉川地区の 2050 年の将来像の実現を目指し、広島大学スマートシティ共創コンソーシアムとの連携によるまちづくりの検討を進める。

【拡】ア 次世代学園都市ゾーンにおけるまちづくりの推進（うち 15,000 千円）

活発な産業活動に呼応し、広島大学周辺地区及び吉川地区において、住民や企業のニーズ、将来の人口増等の課題に対応し、地域経済の発展に資するまちづくりに向けた検討を進める。



【まちづくりの成長ステップ】



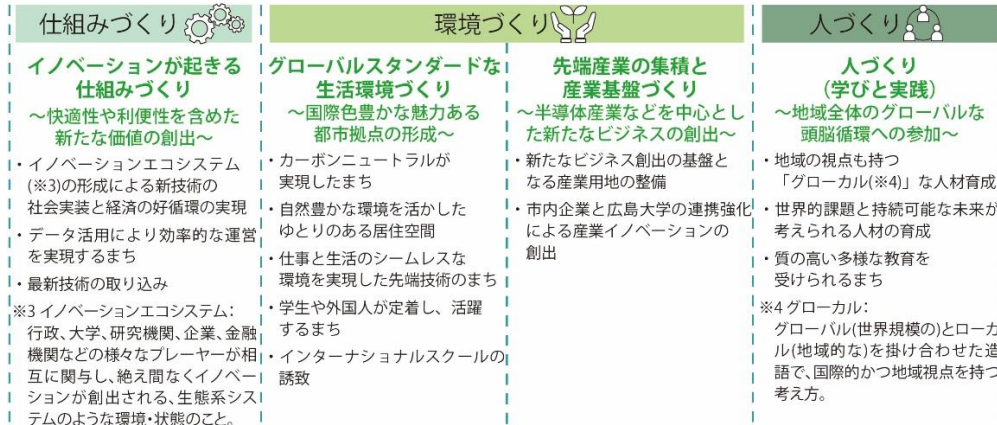
事業の概要

【新】イ 次世代学園都市機能の整備に向けた取組み（うち 2,000 千円）

次世代学園都市に必要な機能を整備するため、「仕組みづくり」「環境づくり」「人づくり」の3つの柱に基づき、機能の検討や検証に取り組む。

グローバルスタンダードな生活環境の実現に向け、国際的なスクール誘致のほか、新たに日本人、外国人双方に対応した教育の検討を進める。

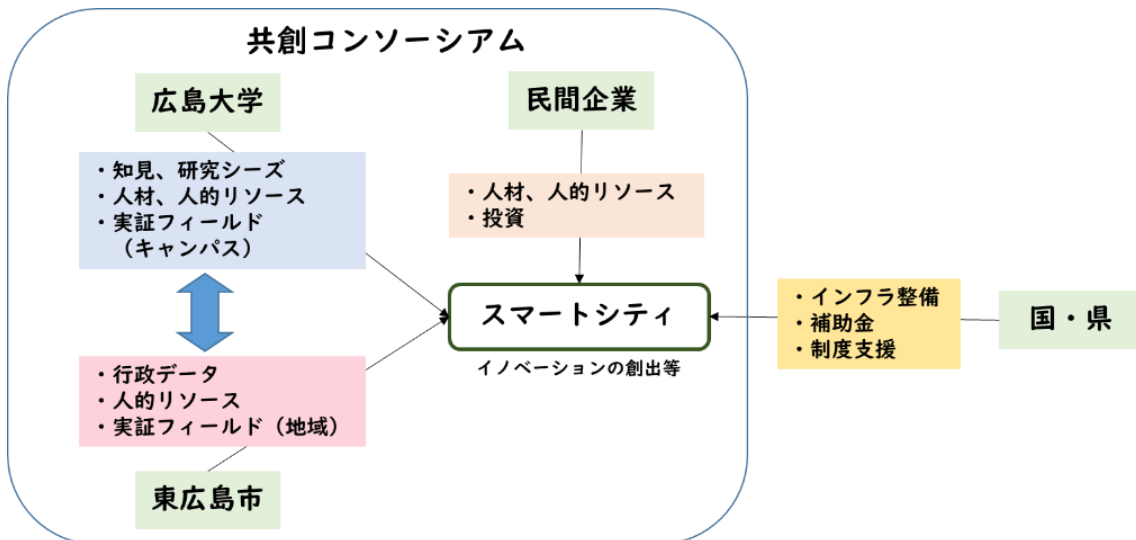
【取組みの柱と実現をめざす将来像】



次世代学園都市ゾーン（広島大学周辺地区・吉川地区）の新たなまちづくり
イノベーションを創造し、世界から起業家や研究者が集まる持続可能で成長するまち

② 企業版ふるさと納税を活用した基盤構築（100,000 千円）

広島大学スマートシティ共創コンソーシアムと連携し、広島大学周辺地区のまちづくりや、次世代学園都市に必要な機能の実装に向けた最先端技術の実証実験等に取り組む。



【広島大学スマートシティ共創コンソーシアム】

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|---|------------|-----------------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活気づくり | 施策 | 1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出 | |
| 施策の将来の目標像 | 大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 4大学との連携事業数(審議会委員等を除いたもの) | 97件/年 | 105件 | 123件/年 |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|---------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ② 大学との連携によるまちづくりの推進 | 主管部局・所属 | 総務部 経営戦略チーム |
| 関係部局・所属 | | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|------------------|---------------|-----------------|-----------------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | 大学との有機的な連携の促進 | 現状 | まちづくりにおける大学との一層の連携が必要 | |
| 課題 | | 仮説に基づく戦略 | 寄与度 | 戦略No. |
| 大学の強みを活かした連携が不十分 | | 大学の特色を活かしたまちづくり | 中 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|--|--------------|----------------------------|----------|-----|-----|----------------------|----|
| | | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 4大学との連携事業数 (審議会委員等を除いたもの) | 97 (R5) | 上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率 | 108 | 111 | 114 | 123 (R12) | 件 |
| (4) COMMONプロジェクト (共同研究型)の実施 件数(累計) | 4 (R5) | | 20 | 24 | 28 | 40 (R12) | 件 |
| (4) | () | | | | | () | |

5 コスト情報

| 目的別 事業群 事業費 (千円) | | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|---------------------------|--|--------|--|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| R 7 年度 | | 36,952 | | | | |
| | | 3,952 | | | | |
| R 8 年度 | | 38,191 | | | | |
| | | 8,132 | | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|-------------------|---------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 2・1・7 大学連携推進事業 | 経営戦略チーム | 2.30 | 36,952 | 38,191 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 2.30 | 36,952 | 38,191 |

| | | |
|--|---|----------------|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。 | | |
| 差額 | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | |
| 平均達成率 | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的 要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |
| 10 総合評価 | | |
| 総合評価 | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | |
| 課題 | | 課題を踏まえた今後の取組方針 |
| | | |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|-----------------------|---------------------|
| 4 活力づくり | 1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出 | ② 大学との連携によるまちづくりの推進 |

| 事業の概要 | | | | |
|---|-------------------|----|-----------|---------------|
| 戦略 | 1 大学の特色を活かしたまちづくり | 予算 | 38,191 千円 | 前年度 36,952 千円 |
| 事務事業 | 1-1 大学連携推進事業 | 予算 | 38,191 千円 | 前年度 36,952 千円 |
| 内容 | | | | |
| 1-1_大学との連携の推進 | | | | |
| ① 大学との連携体制の構築 | | | | |
| ア 市内大学への Town&Gown の推進 (17,378 千円 (前年度 16,326 千円)) | | | | |
| <p>大学と市が共同で地域社会における課題の解決に取り組むため、市内大学に Town&Gown Office を設置し、大学との研究推進体制・機能の充実強化を行うほか、大学との連携による魅力あるまちづくりを進め、より強力な戦略的パートナーシップを構築しながら大学との連携事業を推進する。</p> | | | | |
| (ア) 広島大学 (うち 9,500 千円) | | | | |
| <p>国際的研究拠点東広島の形成に向けた取組み及び大学と一体となったまちづくりマネジメントを推進するため、広島大学と共同で Town&Gown Office を運営し、地域社会の課題解決に向けた活動への支援を行うとともに、広島大学スマートシティ共創コンソーシアムと連携し、次世代学園都市構想に基づいたまちづくりを展開する。</p> | | | | |
| <p>特に、半導体関連産業の活発な動向を見据え、これに対応したまちづくり事業の展開を進める。</p> | | | | |
| (イ) 近畿大学 (うち 7,000 千円) | | | | |
| <p>地域のより一層の活性化に向け、近畿大学と共同で Town&Gown Office を運営し、大学・企業・地域・市が一体となり、産官学民連携強化の推進や人材育成、地域社会の課題解決に向けた活動への支援を行う。</p> | | | | |
| <p>特に、大学が立地する高屋地域のまちづくりにより深く関与し、近畿大学工学部の専門性や技術力を活かした特色ある事業の展開を進め、大学と地域が共に発展し続ける持続可能な仕組みの構築を目指す。</p> | | | | |
| (ウ) 広島国際大学 (うち 0 千円) | | | | |
| <p>市と大学が一体となって健康なまちづくりを行うため、広島国際大学と共同で Town&Gown Office を運営するとともに、地域社会の課題解決に資する学術研究の社会実装や人材育成を目指す。</p> | | | | |
| <p>また、共同研究、健康づくり、企業連携、人材育成等のテーマに沿った連携事業に取り組む。</p> | | | | |
| ※ 目的別事業群 5-4-① 1-1 健康増進事業 | | | | |
| イ 全国 Town&Gown 構想推進協議会 (うち 0 千円) | | | | |
| <p>全国 Town&Gown 構想推進協議会の参加団体等の知見や課題の共有し、Town&Gown 構想の展開の促進や機運醸成を図る。</p> | | | | |

事業の概要

【新】ウ グローバル人材育成の支援（6,000千円）

令和7年10月に広島大学と締結した「グローバル人材育成支援に関する覚書」に基づき、広島大学が運営する「グローバルラーニングセンター」の取組みに賛同する企業からの寄附金を活用し支援する。



グローバルラーニングセンター

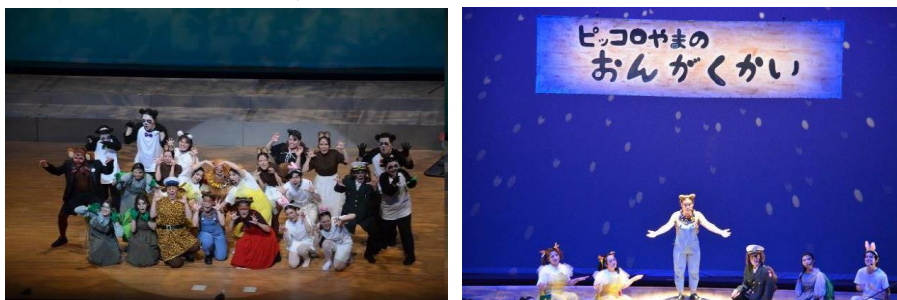
エ エリザベト音楽大学との連携（3,103千円（前年度3,126千円））

エリザベト音楽大学と大学の特色に応じた連携体制を構築し、大学を活かしたまちづくりを推進するため、エリザベト音楽大学が実施するコンサート等の開催を支援する。

(ア) 親子コンサート（年1回）（うち1,200千円）

内容：0歳児から親子で一緒に楽しめる参加型コンサート

場所：東広島芸術文化ホールくらら



親子コンサート

(イ) 美術館コンサート（年1回）（うち153千円）

内容：美術館で行われる展示企画に合わせた音楽とのコラボレーションコンサート（ロビーなどで実施）

場所：東広島市立美術館



美術館コンサート

(ウ) 市内中学校の音楽関連部活動への支援（年1回）（うち750千円）

内容：大学の専門技術を活かして中学校の音楽関連部活動への技術指導、交流活動を行う。

場所：市内中学校（市内各中学校の吹奏楽部等、参加生徒約300人）

事業の概要

(I) 地域コンサート（うち 1,000 千円）

内容：身近で文化芸術に触れていただく機会として、市内でのコンサートを企画・実施する。

場所：東広島市黒瀬生涯学習センター（予定）

② COMMON プロジェクト（11,710 千円（前年度 17,500 千円））

市内 3 大学の知的・人的資源を活用し、行政課題の解決や重点施策の推進に向けた共同研究を行う。

- ・ 初期支援型(上限 50 万円)
- ・ 共同研究型(上限 300 万円)

【令和8年度 COMMON プロジェクト(共同研究型)テーマ】

| 項番 | 研究テーマ | 研究内容 | 当該年度の到達目標 |
|----|---|--|---|
| 1 | 小径車輪を用いた折り畳み可能なスマートモビリティによる未舗装地の人間の動きを考慮した踏破能力の検証 (広島大学) | 救急現場での使用を目的とした電動キックボードの走破性と軽量化の観点から有効性を検証し、実践的なモビリティ開発を目指す。 | 市販品のスマートモビリティをベースにして、実装化を見据えた救急搬送に適したスマートモビリティを実現するとともに、実際の救急車に搭載可能であることを示し、実働可能を検証 |
| 2 | 不登校児童生徒を対象とした支援プログラムの構築 (近畿大学) | 不登校の児童生徒を対象に、近畿大学の人的・教育的資源を活用し、児童生徒が自主的に活動できる場を提供することで、社会的自立を促す支援プログラムを構築・実践する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校支援に関わる教育実践 ・ 教育実践による教育効果の検証 ・ 不登校支援に関わる改善プランの作成 |
| 3 | 若者の自殺予防に資する心の健康教育プログラムの更新と若者同士のつながりを育む施策の展開 (広島国際大学) | 自殺対策における東広島市の若者の課題を洗い出し、それに応じた心の健康教育プログラムを構築する。併せて、プログラム活用のための仕掛け・仕組みづくりを行い、市内各大学に働きかけて一体的に実施する。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)フルバージョンの動画を作成 (2)リーフレットを幅広い層に提供、内容の更新 (3)小規模で介入プログラムを研修形式で数回実施し、コンテンツの効果を検証 (4)市が持続的な施策として実施できる体制・素材作りの提供 |
| 4 | 障がい者スポーツ体験環境開発（システム開発） (広島国際大学) | 人々がフィールド外でスポーツの様々なシーンを、一緒にそれぞれの運動機能に応じた身体運動を伴って体験し、スポーツが持つ楽しさ、緊張感、達成感などを「観戦」以上に共有できる VR 環境を開発する。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)小規模な VR コンテンツ化やコンテンツ化のためのツールを改良 (2)動作テストを行い、UI（ユーザーインターフェイス）を実装 (3)イベント又は近隣施設でテスト出展 |
| 5 | 医工連携による疾走用義足足部の開発 (広島国際大学) | スポーツ義足における調整機能向上を図るためアダプタの開発と合わせて、体験用義足の簡易装着機構の開発を行う。これにより、義足ユーザーがスポーツにチャレンジできる環境を改善する。 | <ol style="list-style-type: none"> (1)調整用アダプタの改良試作と実装評価 (2)健常者向け体験用義足の足部支持部改良試作 <p>※研究成果はイベントでの一時利用や貸し出しに活用し、年間 4 回以上の体験機会を創出</p> |

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|--|-------------------------|------------------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活気づくり | 施策 | 2 多様な市民の力が輝くまちづくり | |
| 施策の将来の目標像 | 国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかの関わりを持ちながら本市の活気づくりに寄与しています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 学生と連携した事業数 | 32件/年 | 43件/年 | 34件/年 |
| | 人口の社会増加数 | 654人/年 (H25-R4年度の平均) | 695人/年 (県の人口移動統計調査) | 1,300人/年 |
| | 定住サポートセンターへの移住相談件数 | 39件 | 33件 | 68件 |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|---------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ① 多様な人材力が発揮できる環境の充実 | 主管部局・所属 | 総務部 経営戦略チーム |
| 関係部局・所属 | | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|------------------------------------|------------|----------------|------------------------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | 学生の地域活動の促進 | 現状 | 学生をはじめとした人材の力が発揮できる環境が整っていない | |
| 課題 | → | 仮説に基づく戦略 | 寄与度 | 戦略No. |
| 学生が地域を知る機会が少ない 学生と地域との交流・連携が少ない | | 学生と地域との交流連携の促進 | 中 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|----------------|--------------|----------|----|----|----------------------|----|
| | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 学生と連携した事業数 | 32 (R5) | 29 | 30 | 31 | 34 (R12) | 件 |
| (4) | () | | | | () | |
| (7) | () | | | | () | |

上段：目標値
中段：実績値
下段：達成率

5 コスト情報

| 目的別 事業群 事業費 (千円) | R 7 年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|---------------------------|--------------|--------|--|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| | | 16,734 | | | | |
| | | 1,800 | | | | |
| | R 8 年度 | 16,679 | | | | |
| | | 1,800 | | | | |

6 戦略を構成する事務事業


(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|------------------------|---------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 2・1・7 学生の地域交流連携促進事業 | 経営戦略チーム | 0.80 | 16,734 | 16,679 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 0.80 | 16,734 | 16,679 |

| | | |
|--|---|----------------|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。 | | |
| 差額 | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | |
| 平均達成率 | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的 要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |
| 10 総合評価 | | |
| 総合評価 | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | |
| 課題 | | 課題を踏まえた今後の取組方針 |
| | | |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|-------------------|---------------------|
| 4 活力づくり | 2 多様な市民の力が輝くまちづくり | ① 多様な人材力が発揮できる環境の充実 |

| 事業の概要 | | | | |
|--|-------------------|-------|----------|--------------|
| 戦略 | 1 学生と地域との交流連携の促進 | 予算 | 16,679千円 | 前年度 16,734千円 |
| 事務事業 | 1-1 学生の地域交流連携促進事業 | 予算 | 16,679千円 | 前年度 16,734千円 |
| 内容 | | | | |
| 1-1_学生と地域との交流・連携の促進 | | | | |
| ① 広島県留学生活躍支援センターの運営費負担 (1,500千円(前年度1,500千円)) | | | | |
| 留学生の受入促進や生活・就職支援を一元的に行う広島県留学生活躍支援センターの活動を通じて、留学生の受入促進及び生活・就職を支援する。 | | | | |
| ※会員：大学、短期大学、高等専門学校、日本語専門学校、行政機関、経済団体及び国際交流団体 | | | | |
| 市内留学生の推移 (単位:人) | | | | |
| R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 1,344 | 1,147 | 1,699 | 1,831 | 2,020 |
| ※住民基本台帳在留資格が「留学」であるもの(各年4月末の人数) | | | | |
|  | | | | |
| 地域と留学生の交流会 (@平岩地域センター) | | | | |
| ② 学園都市づくり交流会議の運営 (15,179千円(前年度15,234千円)) | | | | |
| 大学と地域との交流を通じて、相互理解と親睦を深め、大学の地域への定着を促進し、文化の薫り高い学園都市づくりに寄与するため、大学、市、関係機関で組織する学園都市づくり交流会議を運営する。 | | | | |
| ※構成団体：広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島商工連絡協議会、ひろしま農業協同組合、一般社団法人東広島青年会議所、東広島市スポーツ協会、東広島市文化連盟、公益財団法人東広島市教育文化振興事業団及び東広島市 | | | | |
| 学生数の推移(統計でみる東広島) (単位:千人) | | | | |
| R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 16.7 | 16.7 | 16.2 | 16.3 | 16.3 |
| ※広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学の市内キャンパスにおける学生数 | | | | |

事業の概要

ア 学生の拠点づくり（町家プロジェクト）（うち 3,897 千円）

西条酒蔵通りの町家における学生の DIY 活動等の定期的な企画や大学での実施を通じて人材育成を促進し、学生の活動拠点形成や学生の活動を中心とした賑わいの創出を図る。

（概要）

- ・所在地 東広島市西条本町 8-11
- ・建物構造 木造瓦葺 2 階建
- ・延床面積 304.13 ㎡
(1 階 155.37 ㎡ 2 階 148.76 ㎡)



（西条酒蔵通りの町家）

(7) 学生企画イベントの実施

学生が本市をフィールドとして、活動企画・実践を通して自らの成長を図るとともに、こうした活動をまちの活力につなげていくため、学生自らが企画した活動を実践するためのノウハウを学んでいく。



（夏休み町家企画イベント）

(イ) 多様な主体と連携した地域振興イベントの実施

酒蔵との連携、SDGs パートナーとの連携などにより、地域振興に資する様々な企画を催し、学生の企画立案能力の向上を目指すとともに、アントレプレナーの表現の場とする。

【活動指標】

町家を活用した定期的な企画実施 年 15 回



（蔵開き町家企画イベント）

(ウ) 学生による DIY 改修

広島大学工学部・教育学部の学生を中心として、市内 3 大学の希望学生により、学生が自らものづくりに関わる DIY による改修を行う。

(エ) 授業での活用

広島大学において、「地域おこし実習」などの授業で活用するほか、ワークショップの開催、「建築設計製図」などの授業で古民家の測量、製図を行い、アントレプレナーや建築学分野での人材育成を図る。

イ 学生の地域活動の促進（うち 2,532 千円）

大学・学生と地域との交流・連携を促進し、学生の成長や学生の地域への愛着を促進するため、学生が地域での様々な活動や体験が可能となる機会の創出を図るとともに、地域で主体的に活動するための支援を行う。

(7) 地域体験ツアーの実施

学生が地域や地域活動に興味関心を持つきっかけとなる地域体験ツアーを開催する。
(年5回程度)



(高屋ツアー)

(イ) 学生の主体的な活動への支援

学生の主体的な地域活動を促進するため、本市をフィールドとした学生の活動を支援する。

・補助率：10/10 以内（上限額：50 千円）

(ウ) 学生ローカルパートナー制度

地域をフィールドにして学生と地域との連携による活動を行う学生団体を「学生ローカルパートナー」として認定し、伴走的な支援を行う。

学生同士の意見交換や企画・プロジェクトの検討から実施までを行う過程を通して、他大学や他団体の学生等によるネットワーク構築及び交流促進を行うとともに、学生同士が連携した新たな活動や地域課題の解決にチャレンジできる場を創出する。

ウ 学生と地域とのコーディネート機能の充実（うち 6, 283 千円）

学生と地域との連携促進を図るため、地域ニーズなどの情報収集・情報発信を行うとともに、意見交換の場や学生の活動発表といった学生と地域がつながる多様な機会を通じて地域課題と学生の地域活動のマッチングなどを行う。



(コーディネーターによる相談対応)



(学生と地域の意見交換会)

エ 大学と地域との融合促進（うち 2, 467 千円）

(7) 地域と大学との交流を促進する活動への支援

本市の学園都市づくりへの市民参画を促すため、大学等が主催する地域と大学の一体感の醸成が期待されるイベントを支援する。

また、大学や学生が開催するイベント等に関する広報支援を行う。

(イ) 学生等に向けた情報提供の充実

学生の地域活動支援等や暮らしに関する情報提供を行うとともに、新入生に対し、本市の魅力伝えるための情報誌の配布を行う。

【活動指標】学生と連携した事業数 30 件

学生ローカルパートナー 10 団体程度

その他イベント開催等への支援、広報協力、相談受付など

③ 大学の授業を活用した学生と地域との交流・連携

広島大学が実施中の文部科学省の「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出事業」（令和6年度～11年度）において、授業で地域課題フィールドワークを実施する計画を進めており、その動きと連携し、学生の地域活動の展開を支援する。

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|--|--------------------------|------------------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活気づくり | 施策 | 2 多様な市民の力が輝くまちづくり | |
| 施策の将来の目標像 | 国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかの関わりを持ちながら本市の活気づくりに寄与しています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 学生と連携した事業数 | 32件/年 | 43件/年 | 34件/年 |
| | 人口の社会増加数 | 654 人/年 (H25-R4年度の平均) | 695人/年 (県の人口移動統計調査) | 1,300 人/年 |
| | 定住サポートセンターへの移住相談件数 | 39件 | 33件 | 68件 |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|--------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ② 移住・定住の促進や関係人口の活用 | 主管部局・所属 | 地域振興部 地域政策課 |
| 関係部局・所属 | | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|--|--|----------|-------------------------------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | 国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら本市の活気づくりに寄与している。 | 現状 | 特に人口減少地域において高齢化・人口減少が進み、活力が失われつつある。 | |
| 課題 | | 仮説に基づく戦略 | 寄与度 | 戦略No. |
| 移住検討者に対し地域の魅力を効果的に発信し、多様化するニーズに対応することが可能となるような相談体制を構築することが必要 | 人口減少地域への移住・定住の促進 | | 中 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|-------------------------|--------------|----------------------------|----------|----|----|----------------------|----|
| | | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 定住サポートセンターへの移住相談件数 | 39 (R5) | 上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率 | 47 | 51 | 55 | 68 (R12) | 件 |
| (4) 定住サポートセンター相談者の移住世帯数 | 12 (R5) | | 18 | 21 | 24 | 34 (R12) | 世帯 |
| (4) | () | | | | | () | |

5 コスト情報

| 目的別事業群事業費 (千円) | R年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|-------------------|-----|-------|--------|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| R7年度 | | | 63,681 | | | |
| | | | 54,856 | | | |
| R8年度 | | | 57,594 | | | |
| | | | 35,674 | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|-------------------|-------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 2・1・9 移住促進広報事業 | 地域政策課 | 0.70 | 4,940 | 5,107 |
| 1-2 | 2・1・9 移住者等支援事業 | 地域政策課 | 1.20 | 58,741 | 52,487 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 1.90 | 63,681 | 57,594 |

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

| | |
|----|----|
| 差額 | 分析 |
|----|----|

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

| | |
|-------|----|
| 平均達成率 | 分析 |
|-------|----|

9 取組の分析

| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
|----------|---------------------------------------|-------|
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無いか | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無いか ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的 要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |

10 総合評価

| | |
|------|------|
| 総合評価 | <総評> |
|------|------|

11 今後の課題及び取組方針

| | |
|----|----------------|
| 課題 | 課題を踏まえた今後の取組方針 |
| → | |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|-------------------|--------------------|
| 4 活力づくり | 2 多様な市民の力が輝くまちづくり | ② 移住・定住の促進や関係人口の活用 |

| 事業の概要 | | | |
|-------|--------------------|----|----------|
| 戦略 | 1 人口減少地域への移住・定住の促進 | 予算 | 57,594千円 |
| 前年度 | | | 63,681千円 |
| 事務事業 | 1-1 移住促進広報事業 | 予算 | 5,107千円 |
| 前年度 | | | 4,940千円 |

内容

1-1_移住・定住の促進に向けた情報発信

① 移住促進特設ウェブサイト等による移住関連情報の発信

(3,770千円(前年度3,876千円))

移住・二地域居住を検討する方々に向けて、情報媒体の製作を行う。また、移住促進特設ウェブサイトを更新・運営し、ウェブ広告配信を活用する等、本市の魅力を発信する。



移住促進特設ウェブサイト(風と自由と東広島)のトップページ

② 広島県交流・定住促進協議会等と連携した定住フェア等による移住関連情報の発信(465千円(前年度470千円))

広島県、広島県交流・定住促進協議会、広島広域都市圏と連携し、東京等における定住フェア等において移住・二地域居住の検討者に対し本市の魅力を発信する。



定住フェアの様子

事業の概要

③ おためし移住（872 千円（前年度 594 千円））

本市の人口減少地域への移住を検討する人を対象に、おためしで一定期間居住するための住宅を提供する。本市での暮らしを体験していただくことにより、移住のミスマッチを防ぎ、新たな移住者の獲得につなげる。



【活動指標】：年間 10 件



おためし移住用住宅内の様子



地域おこし協力隊員による PR 動画

| 事業の概要 | | | | |
|--|-----|---|--|---------------|
| 戦略 | 1 | 人口減少地域への移住・定住の促進 | 予算 57,594 千円 | 前年度 63,681 千円 |
| 事務事業 | 1-2 | 移住者等支援事業 | 予算 52,487 千円 | 前年度 58,741 千円 |
| 内容 | | | | |
| 1-2_移住・定住の促進に向けた支援 | | | | |
| ① 定住サポートセンターによる総合相談窓口の運営 (138 千円 (前年度 416 千円)) | | | | |
| 移住・二地域居住を検討する方が求める住まい、仕事、子育てなどの情報提供や相談をワンストップで受け付け、関係部局や特定居住支援法人と連携し相談内容の解決を図る。 | | | | |
| 【新】ア オンライン移住相談 (うち 0 千円) | | | | |
| これまでの対面方式に加えて、遠方により本市の窓口に相談することが難しい人等のために、オンライン移住相談窓口を新たに開設する。 | | | | |
| ② 移住者等に対する各種補助金の交付 (20,200 千円 (前年度 21,600 千円)) | | | | |
| ア 移住支援金の交付 (うち 8,200 千円) | | | | |
| 東京圏から市内に移住し、かつ就業、テレワーク又は起業等をする者等に対し移住支援金を交付する。 | | | | |
| 【支援金 (定額)】 単身世帯 60 万円、2 人以上世帯 100 万円、子育て加算 100 万円 (18 歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は 18 歳未満の者一人につき加算) | | | | |
| 【活動指標】 単身世帯 2 件、2 人以上世帯 3 件、子育て加算 4 人 | | | | |
| イ 移住者等創業及び事業承継支援事業補助金の交付 (うち 12,000 千円) | | | | |
| 人口減少地域における産業の活性化及び定住の促進を図るため、移住者又は移住予定者 (市内の人口減少地域外からの転居者も含む) が、市内の人口減少地域において、新たに創業又は事業を承継する場合に、店舗、事務所等の改修費、設備費、備品購入費の一部を補助する。 | | | | |
| 【補助率及び補助限度額】 1/2、上限 300 万円 | | | | |
| 【活動指標】 4 件 | | | | |
| | |  |  | |
| | | 改修前 | 改修後 | |
| 移住者等創業支援事業補助金 採択事業例 | | | | |

事業の概要

③ 地域おこし協力隊による地域活動支援及び定住促進

(32,149 千円 (前年度 36,725 千円))

都市地域から協力隊員を人口減少地域に呼び込み、地域の課題解決や魅力創造などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る。

ア フリーミッション型地域おこし協力隊の配置と活動支援

(うち 27,149 千円)

協力隊員の地域活動を伴走支援するとともに、任期を終える隊員の後任を配置する。

【地域おこし協力隊配置状況 (令和 8 年 2 月現在)】

志和町、福富町、豊栄町、河内町 各 1 名



地域おこし協力隊の活動の様子

イ ミッション型地域おこし協力隊の配置と活動支援 (うち 0 千円)

市から提示するミッションに対応して活動する地域おこし協力隊員を配置する(地域振興部が募集受付等を行い、政策課題を所管する事業で予算措置を行う)。

※ 目的別事業群 1-4-② 就農者育成事業

ウ 定住のための起業等支援 (うち 5,000 千円)

任期 2 年目から任用終了後 1 年以内の隊員が、本市に定住し、起業又は事業承継をする場合は、起業等支援補助金を交付する。

【補助率及び補助限度額】 10/10、100 万円

エ おためし地域おこし協力隊 (うち 0 千円)

令和 8 年度は「おためし地域おこし協力隊」の実施を予定していないが、令和 9 年度以降については、地域おこし協力隊員の募集状況等を考慮した上で、実施を検討していく。

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|--|---------------------|----------------|----------------------|
| まちづくり大綱 | 4 活気づくり | 施策 | 3 都市成長基盤の強化・充実 | |
| 施策の将来の目標像 | 東広島市の中心地は、市の玄関口として市内外から人びとが集い、憩い、多様な活動が繰り広げられるエリアとなっています。また、各地域では良好な景観が形成され、市民の郷土への誇りや愛着が育まれています。さらに、企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 大屋根広場の利用人数 | - | - | 200,000人/年 |
| | 酒蔵地区の観光客数 (西条酒蔵通り観光案内所の来訪者数) | 18,578人/年 (R4年度) | 23,431人/年 | 38,000人/年 |
| | 新たに確保した産業用地の面積 | 43.4ha (R2~R5年度) | 46.8ha | 86.5ha (R2~R12年度) |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|--------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ① にぎわいと魅力ある都市空間の形成 | 主管部局・所属 | 都市交通部 都市計画課 |
| 関係部局・所属 | 総務部 経営戦略チーム | 地域振興部 | 地域政策課 |
| | 産業部 ブランド推進課 | 産業部 | 産業振興課 |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|--|---|-----------------|--------------------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | 交通結節点となる西条駅や、特徴的な景観を有する酒蔵地区、プールパール通り沿いに立地する多様な施設を活かし、魅力ある中心市街地の形成を図る。 | 現状 | 中心市街地の人通りが少なく、賑わいや活気がない。 | |
| 課題 | | 仮説に基づく戦略 | 寄与度 | 戦略No. |
| 散策したくなる・歩いて楽しめるコンテンツの不足 | | 景観を活かしたまちづくりの推進 | 中 | 1 |
| 交流・イベント・スポーツ・文化活動等、多様な用途に活用できる自由度の高い場소가少ない | | 中心市街地の公有地デザイン | 中 | 2 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | 目標値及び実績値 | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|---------------------------|--------------|----------------------------|----------|----|----|----------------------|----|
| | | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 景観形成事業補助金 交付件数(累計) | 10 (R6) | | 12 | 14 | 16 | 22 (R12) | 件 |
| (4) | () | 上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率 | | | | () | |
| (4) | () | | | | | () | |

5 コスト情報

| 目的別 事業群 事業費 (千円) | R 年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|---------------------------|---------|-------|---------|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| R 7 年度 | | | 113,215 | | | |
| | | | 21,555 | | | |
| R 8 年度 | | | 410,361 | | | |
| | | | 29,721 | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|---------------------|-------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 8・5・1 景観形成事業 | 都市計画課 | 1.96 | 19,893 | 63,892 |
| 2-1 | 2・1・7 プロジェクト推進事業 | 地域政策課 | 2.00 | 93,322 | 346,469 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 3.96 | 113,215 | 410,361 |

| | | |
|--|--------------------------------------|-------|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。 | | |
| 差額 | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | |
| 平均達成率 | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |
| | | |
| 10 総合評価 | | |
| 総合評価 | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | |
| 課題 | 課題を踏まえた今後の取組方針 | |
| | → | |

| 事業の概要 | | | | | | |
|--|-----|---------------|----|-----------|-----|----------|
| 戦略 | 2 | 中心市街地の公有地デザイン | 予算 | 346,469千円 | 前年度 | 93,322千円 |
| 事務事業 | 2-1 | プロジェクト推進事業 | 予算 | 346,469千円 | 前年度 | 93,322千円 |
| 内容 | | | | | | |
| 2-1_プロジェクトの推進 | | | | | | |
| ① 大屋根広場の整備 (346,239千円 (前年度 93,022千円)) | | | | | | |
| 「東広島市中央生涯学習センター跡地等活用基本計画」に基づき、設計施工一括発注方式による大屋根広場の整備に取り組む。 | | | | | | |
| ア 大屋根広場の工事 (うち 346,239千円) | | | | | | |
| 工事費のほか、電柱支障移転に係る経費及び大屋根広場を中心としたエリアマネジメント推進に関する事業等に係る委託料 | | | | | | |
| 【廃】 先進地事例視察に係る旅費等 (前年度 244千円) | | | | | | |
| 整備段階に入ることから先進地視察は中止する。 | | | | | | |
| <大屋根広場整備スケジュール (予定) > | | | | | | |
| R7 | | R8 | | R9 | | |
| 設計 | | 施工 | | | | |
|  | | | | | | |
| ■大屋根広場整備イメージ (設計施工一括工事契約締結時点) | | | | | | |
| ② その他 (230千円 (前年度 300千円)) | | | | | | |
| ア 中央生涯学習センター跡地維持管理に係る修繕費 (うち 230千円) | | | | | | |

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|---|---------------------|----------------|----------------------|
| まちづくり大綱 | 4 活づくり | 施策 | 3 都市成長基盤の強化・充実 | |
| 施策の将来の目標像 | 企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 大屋根広場の利用人数 | - | - | 200,000人/年 |
| | 酒蔵地区の観光客数 (西条酒蔵通り観光案内所の来訪者数) | 18,578人/年 (R4年度) | 23,431人/年 | 38,000人/年 |
| | 新たに確保した産業用地の面積 | 43.4ha (R2~R5年度) | 46.8ha | 86.5ha (R2~R12年度) |

2 目的別事業群の概要

| | | | | |
|---------|--------------|---------|-----|-------|
| 目的別事業群名 | ② 新たな産業基盤の整備 | 主管部局・所属 | 産業部 | 産業振興課 |
| 関係部局・所属 | | | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|----------------------|------------------------|------------|---------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | 研究開発と生産活動が展開できる産業用地の確保 | 現状 | 企業の用地確保ニーズがある | |
| 課題 | → | 仮説に基づく戦略 | 寄与度 | 戦略No. |
| 企業が立地できる新たな用地が不足している | | 新たな産業基盤の整備 | 中 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|----------------------------|----------------|----------|------|------|----------------------|----|
| | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 新たに確保した産業用地の面積(計画期間累計) | 43.4 (R5) | 52.6 | 58.6 | 64.6 | 累計86.5 (R12) | ha |
| (4) | () | | | | () | |
| (4) | () | | | | () | |

上段：目標値
中段：実績値
下段：達成率

5 コスト情報

| 目的別事業群事業費 (千円) | R年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|-------------------|-----|-----------|--|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| R7年度 | | 201,636 | | | | |
| | | 106,574 | | | | |
| R8年度 | | 2,080,269 | | | | |
| | | 150,689 | | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|-----------------------|-------|------|----------|-----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 7.1.3 産業用地環境整備事業 | 産業振興課 | 2.00 | 201,636 | 182,833 |
| 1-2 | 1.1.1 吉川地区産業団地造成事業 | 産業振興課 | 2.00 | 0 | 1,897,436 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 4.00 | 201,636 | 2,080,269 |

| | | | |
|--|--------------------------------------|----------------|--|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。 | | | |
| 差額 | | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | | |
| 平均達成率 | | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 | |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | | |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い | | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等) | 決算時記載 | |
| 外的要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | | |
| 10 総合評価 | | | |
| 総合評価 | | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | | |
| 課題 | | 課題を踏まえた今後の取組方針 | |
| | | | |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|----------------|--------------|
| 4 活力づくり | 3 都市成長基盤の強化・充実 | ② 新たな産業基盤の整備 |

| 事業の概要 | | | | | |
|-------|----------------|----|--------------|-----|------------|
| 戦略 | 1 新たな産業基盤の整備 | 予算 | 2,080,269 千円 | 前年度 | 201,636 千円 |
| 事務事業 | 1-1 産業用地環境整備事業 | 予算 | 182,833 千円 | 前年度 | 201,636 千円 |

内容

1-1_産業用地確保の取組み

① 産業基盤の整備（182,833 千円（前年度 201,636 千円））

ア 産業用地の整備促進（うち 12,273 千円）

県・市・民間事業者による三位一体の産業用地確保を促進する。

(7) 市営産業団地の整備

市営産業団地の整備に向けて地域課題に取り組む。

※造成に係る費用は吉川地区産業団地造成事業で計上する。

(イ) 民間事業者による産業用地の整備促進

新たに産業団地整備を行う民間事業者に対して支援を行う。

○制度の概要

・要件を満たす産業団地開発を実施する事業者に対し支援を行う。

（対象要件及び支援内容）

| | |
|------|--|
| 対象要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・開発に必要な許認可等を取得していること。 ・複数社への分譲を予定している開発計画であること。 |
| 支援内容 | <p>①造成費用に対する一部補助</p> <p>【交付額】分譲面積1ヘクタールあたり最大3,500万円</p> <p>【上限額】整備に要した費用又は1億7,500万円のいずれか低い額</p> <p>②立地企業の確保に係る支援</p> |

※交付対象となる事業がないため、R8年度は当初予算要求なし。

(ウ) 県営産業団地の整備促進

広島県と連携して、入野地区における未利用県有地を活用した産業団地整備を促進する。



広島空港、山陽自動車道 河内ICに近接する東広島入野産業団地

事業の概要

イ 産業用地環境整備助成金（うち 170,560 千円）

民間遊休地等を活用して新たに設備投資を行う企業に対して支援する。

○制度の概要

| 助成金区分 | 産業用地拡充型 | 大規模投資促進型 |
|-------|--|-----------------------------|
| 対象要件 | 5,000 m ² 以上の民間遊休地を新規に購入または賃借し、自社で事業を行うための工場等を建設する者 | 対象用地内（既存敷地含む）で10億円以上の投資を行う者 |
| 助成率 | 25/100 | 50/100 |
| 上限額 | 5,000 万円 ※開発許可等を伴う場合は1億円 | |
| 対象経費 | <ul style="list-style-type: none"> ・土地の造成 ・既存建物等の撤去 ・進入路の整備 ・インフラ整備（電気・上下水の引込み等） | |

【活動指標】

産業用地環境整備助成金：4件（R6実績：0件、R7見込：3件）

| 事業の概要 | | | | | | |
|-------|-----|--------------|----|-------------|-----|-----------|
| 戦略 | 1 | 新たな産業基盤の整備 | 予算 | 2,080,269千円 | 前年度 | 201,636千円 |
| 事務事業 | 1-2 | 吉川地区産業団地造成事業 | 予算 | 1,897,436千円 | 前年度 | 0千円 |

内容

1-1_産業用地確保の取組み

① 産業基盤の整備 (1,897,436千円)

ア 産業用地の整備促進

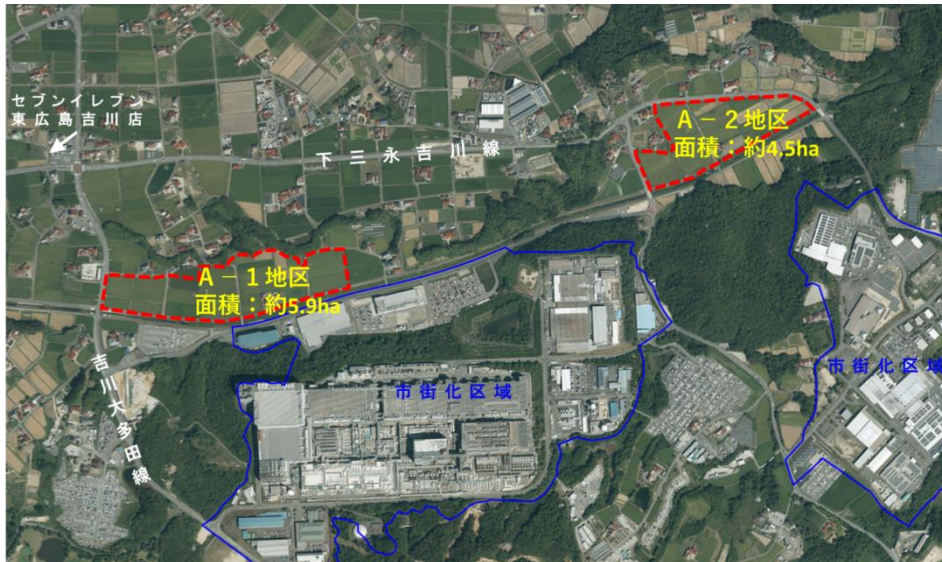
県・市・民間事業者による三位一体の産業用地確保を促進する。

(7) 市営産業団地の整備

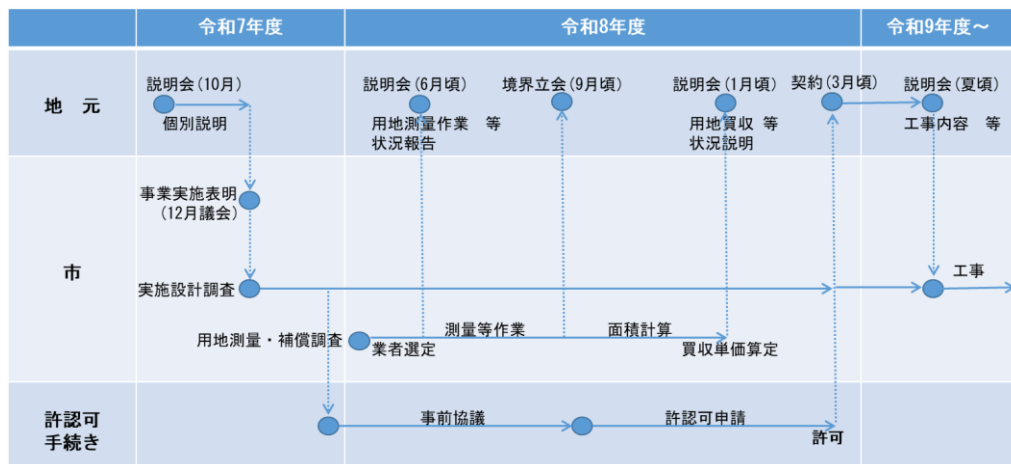
市営産業団地の整備に向け、詳細設計等に着手する。

- ・実施設計、橋梁設計、用地測量、補償調査
- ・用地の取得 等
- ・開発に向けた許認可の手続き

○事業予定区域図



○事業スケジュール (予定)



令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|---|------------|---------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活力づくり | 施策 | 4 交通ネットワークの強化 | |
| 施策の将来の目標像 | 鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | JR乗車人員 | 22,382人/日 | 22,777人/日 | 23,000人/日 |
| | 国県道整備率 | 39% | 39% | 51% |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|--------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ① 公共交通ネットワークの強化・充実 | 主管部局・所属 | 都市交通部 交通政策課 |
| 関係部局・所属 | 河内支所 | 地域振興課 | 安芸津支所 地域振興課 |
| | | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|---|---------------------|----|---|-------|
| 事業群の目指す姿 | 都市の活力を促す交通体系の構築 | 現状 | 交通事業者を取り巻く経営環境の悪化や自家用車に依存した交通体系により、市民・来訪者の円滑で安定的な移動に支障が生じている。 | |
| 課題 | 仮説に基づく戦略 | | 寄与度 | 戦略No. |
| 結節機能の強化に伴う路線再編と他分野との連携(共創)による公共交通ネットワークの再構築及び、交通DX・GXの推進と都市交通施策にあわせた、過度な自動車利用からの行動変容が必要 | 都市の活力を促す交通ネットワークの形成 | | 中 | 1 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | 目標値及び実績値 | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|------------|------------------|----------------------------|----------|--------|--------|----------------------|-----|
| | | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) JR乗車人員 | 22,382 (R5) | 上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率 | 22,500 | 22,600 | 22,700 | 23,000 (R12) | 人/日 |
| (4) | () | | | | | () | |
| (7) | () | | | | | () | |

5 コスト情報

| 目的別事業群事業費 (千円) | R年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|-------------------|-----|---------|--|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| R7年度 | | 868,325 | | | | |
| | | 359,496 | | | | |
| R8年度 | | 332,607 | | | | |
| | | 279,137 | | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|--------------------------------|------------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 2・1・7 公共交通ネットワーク構築事業 | 交通政策課 | 3.00 | 561,503 | 317,317 |
| 1-2 | 2・1・7 公共交通ネットワーク構築事業(河内支所) | 河内支所地域振興課 | 0.30 | 5,171 | 4,171 |
| 1-3 | 2・1・7 公共交通ネットワーク構築事業(安芸津支所) | 安芸津支所地域振興課 | 2.10 | 10,217 | 11,119 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 5.40 | 868,325 | 332,607 |

| | | |
|--|---------------------------------------|-------|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。 | | |
| 差額 | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | |
| 平均達成率 | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無いか | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無いか ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |
| | | |
| 10 総合評価 | | |
| 総合評価 | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | |
| 課題 | 課題を踏まえた今後の取組方針 | |
| | → | |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|---------------|--------------------|
| 4 活力づくり | 4 交通ネットワークの強化 | ① 公共交通ネットワークの強化・充実 |

| 事業の概要 | | | | | |
|-------|-----|---------------------|----|-----------|---------------|
| 戦略 | 1 | 都市の活力を促す交通ネットワークの形成 | 予算 | 332,607千円 | 前年度 868,325千円 |
| 事務事業 | 1-1 | 公共交通ネットワーク構築事業 | 予算 | 317,317千円 | 前年度 561,503千円 |

内容

1-1_公共交通ネットワークの構築

① 広域移動環境の利便性向上（19,744千円（前年度16,333千円））

ア 空港（広島空港整備事業負担金）（うち11,845千円）

県及び市町が連携を図り、広島空港の滑走路端安全区域の整備等、空港機能の改善及び維持に係る整備費を負担する。

イ 海路（うち7,899千円）

安芸津港～大西港（大崎上島町）運航に係る支援を行う。

② バス交通の維持・強化（274,392千円（前年度545,170千円））

ア 市内路線バス運行等に対する支援（うち210,003千円）

本市の移動の骨格である幹線交通を支えるため、路線バス交通事業の維持・強化を図る。

イ バス交通結節点の維持管理（うち11,989千円）

利便性と路線再編による運行効率の向上を図るために設置したバス交通結節点の維持管理を行う。

ウ バス高速輸送システム〔BRT〕（自動運転技術）の導入検討

（うち52,400千円）

ブルーバールにおいて基幹的交通軸となるバス高速輸送システム（BRT）の導入について、前年度に引き続き検討を深度化させるとともに、導入に向けた実証運行を実施する。



▲R7 実証車両



▲小学校での出前授業



▲自動運転・隊列走行 BRT 検討分科会

【新】③ 交通需要マネジメント施策の推進 (21,570 千円 (前年度 0 千円))

自家用車による慢性的な交通渋滞を解消するため、望ましい交通行動への誘導を目的として交通需要マネジメントを推進する。

交通渋滞の現況把握・原因分析調査、官民連携による協議体の設置・運営、アイデア創出と取組みの実践の場となるワーキングの運営、行動変容を促す促進ツールの作成を行う。

■交通需要マネジメント

都市又は地域レベルの交通需要の時間的・空間的集中を緩和するため、時間の変更、経路の変更、手段の変更、自動車の効率的利用、発生源の調整等により、交通需要量を調整 (=交通行動の変容) する手法。

| 事業の概要 | | | | | |
|---|-----|----------------------|----|-----------|---------------|
| 戦略 | 1 | 都市の活力を促す交通ネットワークの形成 | 予算 | 332,607千円 | 前年度 868,325千円 |
| 事務事業 | 1-2 | 公共交通ネットワーク構築事業（河内支所） | 予算 | 4,171千円 | 前年度 5,171千円 |
| 内容 | | | | | |
| 1-2_公共交通ネットワークの構築（河内支所） | | | | | |
| ① 広島空港周辺対策（4,171千円（前年度5,171千円）） | | | | | |
| ア 広島空港周辺整備 | | | | | |
| <p>空港周辺環境の配慮を講じるため、県と連携を図り、周辺地域の住宅への空調対策、道路等安全対策・周辺環境保全、公共施設を活用した地域振興策を進める。</p> | | | | | |

| 事業の概要 | | | | | |
|-------------------------------------|-----|-----------------------|----|-----------|---------------|
| 戦略 | 1 | 都市の活力を促す交通ネットワークの形成 | 予算 | 332,607千円 | 前年度 868,325千円 |
| 事務事業 | 1-3 | 公共交通ネットワーク構築事業（安芸津支所） | 予算 | 11,119千円 | 前年度 10,217千円 |
| 内容 | | | | | |
| 1-3_公共交通ネットワークの構築（安芸津支所） | | | | | |
| ① 安芸津駅の維持管理（11,119千円（前年度10,217千円）） | | | | | |
| <p>駅の待合環境と快適性の向上を図るため、適正な管理を行う。</p> | | | | | |

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|---|------------|---------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活力づくり | 施策 | 4 交通ネットワークの強化 | |
| 施策の将来の目標像 | 鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | JR乗車人員 | 22,382人/日 | 22,777人/日 | 23,000人/日 |
| | 国県道整備率 | 39% | 39% | 51% |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|---------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ② 高規格道路及び幹線道路交通網の整備 | 主管部局・所属 | 都市交通部 都市計画課 |
| 関係部局・所属 | | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | | |
|-------------------------|--|---------------|---|-----|-------|
| 事業群の目指す姿 | 東広島市の慢性的な交通渋滞の解消を図り、産業活動や広域連携の強化につながる幹線道路交通網を形成する。 | 現状 | 市中心部の拠点性の高まりにより、交通量が増加し、慢性的渋滞が発生しており、広域利便性を生かした産業活動や広域連携に支障が出ている。 | | |
| 課題 | | 仮説に基づく戦略 | | 寄与度 | 戦略No. |
| 高規格道路網及び幹線道路網の整備が遅れている。 | | 国・県幹線道路整備の取組み | | 中 | 1 |
| | | | | | |
| | | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|------------------------------|--------------|----------------------------|----------|----|----|----------------------|----|
| | | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 広島県道路整備計画2021における国県道の整備率 | 70 (R5) | 上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率 | 77 | 85 | 85 | 92 (R12) | % |
| (4) | () | | | | | () | |
| (4) | () | | | | | () | |

5 コスト情報

| 目的別事業群事業費 (千円) | R年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|-------------------|-----|---------|--|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| R7年度 | | 71,493 | | | | |
| | | 43,393 | | | | |
| R8年度 | | 109,510 | | | | |
| | | 13,260 | | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|----------------------|-------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 8.5.1 国・県幹線道路整備事業 | 都市計画課 | 2.03 | 71,493 | 109,510 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 2.03 | 71,493 | 109,510 |

7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

| | |
|----|----|
| 差額 | 分析 |
|----|----|

8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

| | |
|-------|----|
| 平均達成率 | 分析 |
|-------|----|

9 取組の分析

| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
|----------|---------------------------------------|-------|
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無いか | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無いか ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的 要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |

10 総合評価

| | |
|------|------|
| 総合評価 | <総評> |
|------|------|

11 今後の課題及び取組方針

| | |
|----|----------------|
| 課題 | 課題を踏まえた今後の取組方針 |
|----|----------------|

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|---------------|-------------------------|
| 4 活力づくり | 4 交通ネットワークの強化 | ② 高規格道路及び幹線道路 交通網の整備 |

| 事業の概要 | | | | |
|-------|-----------------|----|------------|---------------|
| 戦略 | 1 国・県幹線道路の取組み | 予算 | 109,510 千円 | 前年度 71,493 千円 |
| 事務事業 | 1-1 国・県幹線道路整備事業 | 予算 | 109,510 千円 | 前年度 71,493 千円 |

内容

1-1_国・県幹線道路整備の促進

慢性的な交通渋滞を解消し、産業活動や広域連携の強化を図るため、広域的な道路ネットワークとなる幹線道路の整備促進を図る。

① 幹線道路整備の推進（650 千円（前年度 753 千円））

期成同盟会において、国や県に対し、国・県幹線道路の整備促進を要望する。

② 国や広島県等が整備する幹線道路事業の促進

（108,860 千円（前年度 70,740 千円））

国や広島県等が市内で整備する国県道などの幹線道路について、関係機関と連携のうえ地元調整等を積極的に行うとともに、広島県が実施する整備費の一部を、県条例の規定により負担する。

・負担金対象路線：都市計画道路上寺家下見線ほか 1 1 路線

◎都市計画道路上寺家下見線（街路事業）



◎国道 375 号御蔭宇バイパス（道路改良事業）



令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|--|-------------|--------------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活づくり | 施策 | 5 環境に配慮した社会システムの構築 | |
| 施策の将来の目標像 | 地球規模の環境問題等に対応できる次世代環境都市の構築が進展し、環境と調和した潤いのある地域が形成されています。また、構築の過程で生み出されたシステムや成果が、市民の暮らしづくりに効果的に活用されています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 市有施設の温室効果ガス排出量 | 18,943t-CO2 | 15,489t-CO2 | 11,771t-CO2 |
| | ESCO事業を通じて削減したCO2削減量 | 141t-CO2/年 | 188t-CO2/年 | 526t-CO2/年 |
| | イベント等を通じて環境意識が高まった市民の割合 | 80% | 91% | 90% |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|--------------------|---------|-----------------|
| 目的別事業群名 | ① 環境に配慮した社会システムの構築 | 主管部局・所属 | 生活環境部 環境先進都市推進課 |
| 関係部局・所属 | 財務部 管財課 | 産業部 | 農林水産課 |
| | 学校教育部 指導課 | | |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|-------------------------|-----------------|----|--------------------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | 次世代型の環境都市の構築 | 現状 | 地球温暖化対策等に対する取組みが求められている。 | |
| 課題 | 仮説に基づく戦略 | | 寄与度 | 戦略No. |
| 気候変動の影響緩和と適応 | 脱炭素化の推進と強靱化 | | 高 | 1 |
| 将来像の共有と取組をサポートするシステムづくり | S-TOWNプロジェクトの推進 | | 低 | 2 |
| | | | | |
| | | | | |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|-----------------------------|-------------------------|----------|--------|--------|----------------|-------|
| | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 市有施設の温室効果ガス排出量 | 18,943 (R5) マイナス指標設定 | 15,371 | 14,751 | 14,140 | 11,771 (R12) | t-CO2 |
| (4) ESCO事業を通じて削減したCO2削減量 | 141 (R5) | 290 | 355 | 461 | 526 (R12) | t-CO2 |
| (7) イベント等を通じて環境意識が高まった市民の割合 | 80.0 R5 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90 (R12) | % |

5 コスト情報

| 目的別事業群事業費 (千円) | R年度 | 当初予算額 | | 決算額 | | 人件費 |
|----------------|-----|-----------|--|------|--|-----|
| | | 一般財源 | | 一般財源 | | |
| R7年度 | | 634,509 | | | | |
| | | 59,150 | | | | |
| R8年度 | | 1,663,838 | | | | |
| | | 52,307 | | | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|---------------------------|-----------|------|----------|-----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 4・1・4 脱炭素化等支援事業 | 環境先進都市推進課 | 5.26 | 604,989 | 1,635,237 |
| 1-2 | 2・1・6 庁舎等脱炭素推進事業 | 管財課 | 0.10 | 25,889 | 25,889 |
| 2-1 | 4・1・4 S-TOWNプロジェクト推進事業 | 環境先進都市推進課 | 2.76 | 3,631 | 2,712 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | | | 8.12 | 634,509 | 1,663,838 |

| | | | |
|---|--------------------------------------|----------------|--|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む | | | |
| 差額 | | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | | |
| 平均達成率 | | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 | |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | | |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い | | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無い ・実施主体は適切か (直営・委託等) | 決算時記載 | |
| 外的要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | | |
| 10 総合評価 | | | |
| 総合評価 | | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | | |
| 課題 | | 課題を踏まえた今後の取組方針 | |
| | | | |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|--------------------|--------------------|
| 4 活力づくり | 5 環境に配慮した社会システムの構築 | ① 環境に配慮した社会システムの構築 |

| 事業の概要 | | | |
|-------|---------------|----|---------------------------|
| 戦略 | 1 脱炭素化の推進と強靱化 | 予算 | 1,661,126千円 前年度 630,878千円 |
| 事務事業 | 1-1 脱炭素化等支援事業 | 予算 | 1,635,237千円 前年度 604,989千円 |

内容

1-1_地域脱炭素化の推進と強靱化

① 脱炭素化に向けた取組みの実装 (1,635,237千円 (前年度 604,989千円))

ア 脱炭素地域づくり (うち 1,454,717千円)

西条下見地域を本市の脱炭素先行地域と位置付け、民生部門 (家庭部門、その他業務部門) の電力由来の二酸化炭素排出量を 2030 年度までに実質ゼロとする取組みを行い、その実績を市域に展開する。

| 民生部門電力需要量 | |
|-----------|---------------|
| ①西条下見地域 | 10,929,966kWh |
| ②東広島運動公園 | 1,052,328kWh |
| ③広島大学エリア | 31,984,964kWh |
| 合計 | 43,967,258kWh |



地域の脱炭素化に向けた意識変容、行動変容や省エネ設備の導入推進により民生部門電力需要量の削減を図りつつ、再エネ設備導入の推進、再エネ電力への切り替えにより、脱炭素化を実現する。

《先行地域の主な取組み》

| 区分 | 数量 | 事業概要 |
|------|-------------------|--|
| 集合住宅 | 114棟 (3,434世帯) | 既存の集合住宅に一括受電と、太陽光発電設備・蓄電池によるエネルギーマネジメントのサービスを提供し、合わせて空調や給湯設備の更新による省エネ化を推進。 |
| 戸建住宅 | 115件 | 地域エネルギー会社、地元事業者、首都圏の太陽光サービス事業者と連携し、戸建住宅に対する太陽光発電設備・蓄電池の導入 (リースサービス等) を実施。 |
| 事業所 | 64件 | 太陽光発電設備、省エネ設備の導入費用を補助。 |

事業の概要

| | | |
|---------|-------|--|
| 東広島運動公園 | 2.7MW | 東広島運動公園駐車場等の屋外スペースを活用し、太陽光発電設備を導入。 施設の自家消費電力を賄いつつ、余剰電力は地域エネルギー会社を買電し、西条下見地域へ供給する。 |
|---------|-------|--|

(7) 東広島市脱炭素先行地域づくり事業補助金

【活動指標】 対象：市民（脱炭素先行地域）

| 取組内容 | 補助率 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|---------------------|------------|--------------------|-------------------------|
| 集合住宅の再エネ設備・省エネ設備等導入 | 補助対象経費の2/3 | 計画：5棟 1月末実績：0棟 | 計画：20棟 (1,091,698千円) |
| 戸建住宅の再エネ設備導入 | 補助対象経費の2/3 | 計画：25件 1月末実績：0件 | 計画：35件 (102,060千円) |

【活動指標】 対象：事業者（脱炭素先行地域）

| 取組内容 | 補助率 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|----------------|------------|-------------------|---------------------|
| 再エネ設備・省エネ設備等導入 | 補助対象経費の2/3 | 計画：7件 1月末実績：0件 | 計画：7件 (65,974千円) |

【活動指標】 対象：東広島運動公園（脱炭素先行地域）

| 取組内容 | 補助率 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|---------|------------|-------|-------------------------|
| 再エネ設備導入 | 補助対象経費の2/3 | — | 計画：0.9MW (180,000千円) |

(1) 地域脱炭素形成に向けた協議体の設置及び運営

脱炭素先行地域計画提案書の共同提案者や協力事業者とともに事業推進のための協議会を設置し、事業推進及び横展開を図る。

協議会は、事業推進の意思決定等をサポートする機関（プロジェクトマネジメントオフィス）として、事業区分ごとの会議運営、取組みの進捗状況や課題の可視化、市民、事業者等との連携のほか、啓発等を行う。

令和12年度までの事業計画

| 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
|-------|-------|----------------------|--------|--------|--------|
| | | 再エネ設備・省エネ設備等導入（集合住宅） | | | |
| | | 再エネ設備導入（戸建住宅） | | | |
| | | 再エネ設備・省エネ設備等導入（事業者） | | | |
| | | 再エネ設備設置（運動公園） | | | |

【拡】 イ 脱炭素化に向けた啓発（うち 4,474 千円）

◎知る

(7) SNS による啓発活動

地球温暖化対策について、SNS 上でわかりやすく、視認性の高い啓発を発信する。

(1) 脱炭素セミナーの開催

市民向けは、市民の認知度が高く、地球温暖化対策に精通している方を講師に招いたセミナーを開催する。

また、市内事業者向けには、全国的な脱炭素の動向に詳しい専門家を講師に、事業活動に関連する視点を踏まえた内容のセミナーを開催する。

さらに、市職員向けには、先行して脱炭素の取組みを進め、成果を上げている自治体の職員や、その取組みに関わった方を講師としたセミナーを開催する。

- ・市民向け脱炭素セミナー
- ・事業者向け脱炭素セミナー
- ・市職員向け脱炭素セミナー

◎学ぶ

(ウ) 環境学習の推進

科学的データを地球儀で見える化する教材を活用して、出前講座や広島中央エコパークでの環境学習を実施し、市民の地球温暖化対策への理解を深める。

特に、世代に応じた効果的なセミナーやイベントを企画し、世代間で環境意識を共有することで、学びの広がりや深まりを目指す。



図：広島中央エコパーク社会見学



図：脱炭素セミナーで発表する中学生

(1) イベントへの環境学習ブースの出展

市内で開催されるイベントのうち、環境学習と親和性の高いイベントに出展し、市民に対して環境学習を実施する。

- ・触れる地球を活用したイベント企画・出展業務



図：エコパークフェア 2025



図：ひとむすびナイトマーケット

事業の概要

◎守る

(オ) 地球温暖化対策地域協議会の活動支援

【活動指標】

イベント等を通じて環境意識が高まった市民の割合

(R4 : 68.5% → R8 : 90.0%)

ウ 二酸化炭素排出抑制対策事業補助金の交付（うち 162,345 千円）

市民、事業者を対象に脱炭素化に向けた複合的な取組みを行うことで、本市の脱炭素化を加速させるとともに災害に対する強靱化を図る。

【活動指標】 対象：市民（人口減少地域）

| 支援内容 | 補助率等 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|---------|-------------------------|------------------------|-----------------------|
| 太陽光発電設備 | 補助対象経費の 1/3 70 千円/kW | 計画：20 件 1 月末実績：16 件 | 計画：20 件 (7,000 千円) |

【活動指標】 対象：市民（人口減少地域外）

| 支援内容 | 補助率等 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|---------|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 太陽光発電設備 | 補助対象経費の 1/3 50 千円/kW | 計画：80 件 1 月末実績：43 件 | 計画：80 件 (18,000 千円) |

【活動指標】 対象：事業者

| 支援内容 | 補助率等 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|------------------|--------------------------|-----------------------|------------------------|
| 太陽光発電設備 | 補助対象経費の 1/3 50 千円/kW | 計画：18 件 1 月末実績：2 件 | 計画：18 件 (18,332 千円) |
| 定置用リチウムイオン蓄電システム | 補助対象経費の 1/3 50 千円/kWh | 計画：13 件 1 月末実績：1 件 | 計画：13 件 (10,666 千円) |

【活動指標】 対象：小中学校屋内運動場

| 支援内容 | 補助率等 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|-------------------------|--|----------------------|------------------------|
| 高効率空調設備 太陽光発電設備 等 | (高効率空調設備) 補助対象経費の 1/2 (太陽光発電設備、蓄電池) 補助対象経費の 1/3 | 計画：3 校 1 月末実績：3 校 | 計画：3 校 (103,301 千円) |



屋内運動場空調設備



太陽光発電設備

事業の概要

エ スマートオフィス・スマートファクトリー化の推進（うち 3,538 千円）

商工会議所や商工会等と連携しながら、主に市内中小事業者を対象に、CO2 排出量の削減を推進するため、簡易 CO2 ポテンシャル診断、省エネアドバイス、設備改修等に関する補助金申請をサポートする業務を事業者委託する。

【活動指標】

| 支援内容 | 令和 7 年度 | 令和 8 年度 |
|------------------|-----------------------|---------|
| 省エネ・創エネ 相談支援等 | 計画：20 件 1 月末実績：4 件 | 計画：20 件 |

オ スマートハウス化支援補助金の交付（うち 10,025 千円）

市民を対象に、省エネ・創エネの推進や災害時の強靱化を目的に蓄電池等の導入支援を行う。

【活動指標】

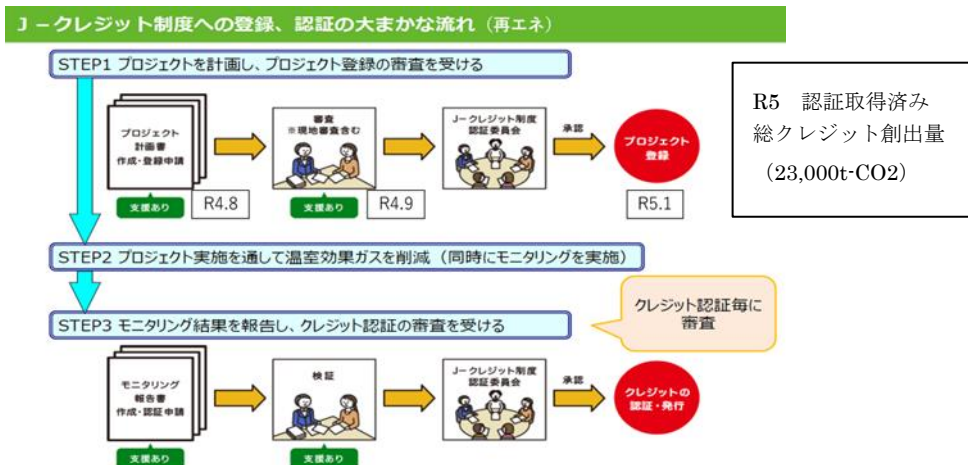
| 支援内容 | 補助率等 | 令和 7 年度 | 令和 8 年度 |
|----------------------|--------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 定置用リチウム イオン蓄電システム | 補助対象経費の 1/10 上限：10 万円 | 計画：96 件 1 月末実績：106 件 | 計画：96 件 (9,600 千円) |
| 家庭用燃料電池 システム | 補助対象経費の 1/10 上限：8 万円 | 計画：2 件 1 月末実績：0 件 | 計画：2 件 (160 千円) |
| 電気自動車 充電設備 | 補助対象経費の 1/10 上限：8 万円 | 計画 3 件 1 月末実績：0 件 | 計画：3 件 (240 千円) |

カ 環境価値（J-クレジット）の啓発（うち 138 千円）

市内で生み出される再エネ等の環境価値を積み上げると共に、市内事業者等に対し制度の周知、浸透を図る。

(7) 市民等が太陽光発電設備や再エネ設備等を導入したことによる CO2 削減量をクレジット化

【再エネクレジットの創出スケジュール】



事業の概要



| Jクレジット創出量 (t-CO ₂)及び価値化シュミレーション | | | | | | | | | | |
|--|----------------------|--------|---------|---------|--------|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 再エネ (蓄電池) 年間新規: 70世帯 (★実績) 計画期間: 8年間/世帯 ※1: クレジット価値 6千円/t-CO ₂ ※2: クレジット化経費 検証委託費+報告書作成=3,129千円 | | | | | | | | | | |
| | (単位) | 令和4年度★ | 令和5年度★ | 令和6年度★ | 令和7年度★ | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 単年クレジット創出量 | (t-CO ₂) | 0 | 322 | 410 | 514 | 592 | 683 | 774 | 865 | 786 |
| 累計クレジット創出量 | (t-CO ₂) | 0 | 322 | 732 | 1,246 | 1,838 | 2,521 | 3,295 | 4,160 | 4,946 |
| クレジット価値 ^{※1} | (千円) | | 0 | 1,932 | 4,392 | 7,478 | 11,030 | 15,128 | 19,772 | 24,962 |
| (クレジット) 価値・経費 ^{※2} | (千円) | | ▲ 3,129 | ▲ 1,197 | 1,263 | 4,349 | 7,901 | 11,999 | 16,643 | 21,833 |

(イ) 森林整備による CO₂ 吸収量をクレジット化 【森林クレジットの創出スケジュール】



| Jクレジット創出量 (t-CO ₂)及び価値化シュミレーション | | | | | | | | | | |
|--|----------------------|-------|---------|---------|---------|--------------|-------|--------|--------|--------|
| 森林 森林整備計画に基づく伐採・植林 ※1: クレジット価値 10千円/t-CO ₂ ※2: クレジット化経費 検証委託費+報告書作成=6,290千円 | | | | | | | | | | |
| | (単位) | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 単年クレジット創出量 | (t-CO ₂) | 65 | 125 | 211 | 211 | 182 | 182 | 182 | 182 | 182 |
| 累計クレジット創出量 | (t-CO ₂) | 65 | 190 | 401 | 612 | 794 | 976 | 1,158 | 1,340 | 1,522 |
| クレジット価値 ^{※1} | (千円) | | 650 | 1,900 | 4,010 | 6,120 | 7,940 | 9,760 | 11,580 | 13,400 |
| (クレジット) 価値・経費 ^{※2} | (千円) | | ▲ 5,640 | ▲ 4,390 | ▲ 2,280 | ▲ 170 | 1,650 | 3,470 | 5,290 | 7,110 |

| 事業の概要 | | | | | |
|--|-----|-------------|----|--------------|----------------|
| 戦略 | 1 | 脱炭素化の推進と強靱化 | 予算 | 1,661,126 千円 | 前年度 630,878 千円 |
| 事務事業 | 1-2 | 庁舎等脱炭素推進事業 | 予算 | 25,889 千円 | 前年度 25,889 千円 |
| 内容 | | | | | |
| <p>1-2_庁舎等の脱炭素化の推進と強靱化</p> <p>① 庁舎等の脱炭素化の推進（25,889 千円（前年度 25,889 千円））</p> <p>市域の温室効果ガス排出量の削減に向け、福富支所庁舎において整備した空調設備、非常用発電設備、太陽光発電設備、蓄電池及びLED照明の一体的な運用（ESCO 事業、リース期間：令和4～14 年度）を継続して実施する。</p> <p><ESCO 事業とは></p> <p>Energy Service Company の略称で、設備の高効率化により光熱費の削減を進めていく事業のこと。</p> | | | | | |

| 事業の概要 | | | | | |
|---|-----|-------------------|--|----------|--------------|
| 戦略 | 2 | S-TOWN プロジェクトの推進 | 予算 | 2,712 千円 | 前年度 3,631 千円 |
| 事務事業 | 2-1 | S-TOWN プロジェクト推進事業 | 予算 | 2,712 千円 | 前年度 3,631 千円 |
| 内容 | | | | | |
| 2-1_S-TOWN プロジェクトの推進 | | | | | |
| ① S-TOWN プロジェクトチーム会議等の開催 (1,473 千円 (前年度 1,305 千円)) | | | | | |
| 企業・大学・市等連携するためのプロジェクトチーム会議等を開催し、実現可能な事業の企画・検討を行う。 | | | | | |
| 【主な検討事項】 | | | | | |
| ○市有施設での再生可能エネルギー発電の展開 | | | | | |
| ・再生可能エネルギーの導入促進を図るため、市有地等への発電設備の設置の検討のほか、既設太陽光の電力の面的融通等を推進できるよう、系統線を利用する受配電モデル等の活用を検討する。 | | | | | |
| ○環境教育プログラムの構築 | | | | | |
| ・将来世代への環境教育を充実させるため、児童及び生徒の主体的な学習支援が行える環境学習プログラム等の開発を推進する。 | | | | | |
| ○市民主体の里山活用 | | | | | |
| ・持続可能な森林の管理・活用を進めていくことを目的に、木質バイオマス、教育やヘルスケア等での空間利用、マテリアル利用等を含む多様な利活用が図られるよう、山への関心、価値の向上、森林の整備を推進する。 | | | | | |
| ② 次世代自動車の普及による脱炭素化の推進 (1,239 千円 (前年度 2,326 千円)) | | | | | |
| ア 電気自動車（公用車）の管理 | | | | | |
| 令和2年度に導入した電気自動車の更新を行うとともに、コンパクトカー『コムス』を継続して活用し、低炭素な移動手段を推進する。 | | | | | |
|  | | |  | | |
| 図：三菱自動車 ミニキャブ EV | | | 図：トヨタ車体 コムス | | |

令和 8 年度 目的別事業群総括管理 (予算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

| | | | | |
|-----------|--|----------------------|--------------------|-------------|
| まちづくり大綱 | 4 活気づくり | 施策 | 6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市 | |
| 施策の将来の目標像 | AIやビッグデータなど、最先端技術を活用し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」を目指す取組みが積極的に展開されています。 | | | |
| 施策の数値目標 | 指標 | 初期値 (R5年度) | 実績値 (R6年度) | 目標値 (R12年度) |
| | 実証フィールドである福富地域の年間社会人口増減 | 3人減/年 (R1~5年度の平均) | 8人減/年 | 45人増/年 |
| | 市民ポータルサイトの登録者数 | 37,669人 (3月末時点) | 50,646人 (3月末時点) | 85,000人 |

2 目的別事業群の概要

| | | | |
|---------|---------------------------|---------|-------------|
| 目的別事業群名 | ① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開 | 主管部局・所属 | 総務部 DX推進チーム |
| 関係部局・所属 | 総務部 経営戦略チーム | 地域振興部 | 地域政策課 |

3 事業群の目指す姿と戦略

| | | | | |
|----------------------------------|-----------------------|----|------------|-------|
| 事業群の目指す姿 | デジタル技術により社会課題が解決される社会 | 現状 | 様々な社会課題がある | |
| 課題 | 仮説に基づく戦略 | | 寄与度 | 戦略No. |
| 市民の暮らし・仕事、地域社会、行政におけるDXが推進されていない | DXの推進による市民の利便性向上 | | 高 | 1 |
| まるごと未来都市に向けた機運が醸成されていない | DXの推進に向けた体制整備 | | 中 | 2 |
| | 中山間地域における生活価値の創造 | | 低 | 3 |
| SDGsの考え方が広まっていない | SDGsの推進 | | 低 | 4 |

4 成果指標

| 成果指標 | 初期値 (年度) | 目標値及び実績値 | | | 終期目標値 (年度) 達成率 | 単位 |
|-----------------------|------------------|----------|--------|--------|----------------------|----|
| | | R7 | R8 | R9 | | |
| (7) 市民ポータルサイト提供サービス数 | 26 (R5) | 35 | 40 | 45 | 60 (R12) | 件 |
| (4) 市民ポータルサイトによる情報配信数 | 15,085 (R5) | 15,500 | 15,700 | 15,900 | 16,500 (R12) | 件 |
| (7) | () | | | | () | |

上段：目標値
中段：実績値
下段：達成率

5 コスト情報

| 目的別事業群事業費 (千円) | R年度 | 当初予算額 | 決算額 | 人件費 |
|-------------------|-----|---------|------|-----|
| | | 一般財源 | 一般財源 | |
| R7年度 | | 371,870 | | |
| | | 120,165 | | |
| R8年度 | | 580,397 | | |
| | | 192,625 | | |

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

| No. | 款・項・目 事務事業名 | 所属 | 人役 | R7 当初予算額 | R8 当初予算額 |
|-----|----------------------|---------|------|----------|----------|
| | | | | R7 決算額 | R8 決算額 |
| 1-1 | 2・1・8 DX推進事業 | DX推進チーム | 5.00 | 174,126 | 149,465 |
| | | | | 0 | 0 |
| 1-2 | 2・1・2 DXを活用した広報事業 | 経営戦略チーム | 0.20 | 1,716 | 1,716 |
| | | | | 0 | 0 |
| 2-1 | 2・1・8 DX体制整備事業 | DX推進チーム | 0.40 | 13,026 | 16,163 |
| | | | | 0 | 0 |
| 3-1 | 2・1・7 未来都市形成事業 | 地域政策課 | 2.20 | 176,473 | 406,592 |
| | | | | 0 | 0 |
| 4-1 | 2・1・7 SDGs促進事業 | 経営戦略チーム | 1.30 | 6,529 | 6,461 |
| | | | | 0 | 0 |
| 合計 | | | 9.10 | 371,870 | 580,397 |

| | | |
|--|---|----------------|
| 7 R8事業費の分析 (差額 = 「R8年度当初予算額」 - 「R8年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。 | | |
| 差額 | 分析 | |
| 8 R8成果指標の分析 (成果指標の平均達成率) | | |
| 平均達成率 | 分析 | |
| 9 取組の分析 | | |
| 区分 | 分析視点 | 分析内容 |
| 妥当性 | ・目的達成のために必要か ・対象、手段は適切か | 決算時記載 |
| 有効性 | ・取組みの効果はあるか ・他に類似・重複している 事業は無い | |
| 効率性 | ・コスト削減余地は無い か ・実施主体は適切か (直営・委託等) | |
| 外的 要因 | ・外的な要因による影響は あったのか。 | |
| 10 総合評価 | | |
| 総合評価 | <総評> | |
| 11 今後の課題及び取組方針 | | |
| 課題 | | 課題を踏まえた今後の取組方針 |
| | | → |

概要シート

| まちづくり大綱 | 施策 | 目的別事業群 |
|---------|--------------------|---------------------------|
| 4 活力づくり | 6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市 | ① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開 |

| 事業の概要 | | | |
|---|--------------------|--------------------|---------------|
| 戦略 | 1 DXの推進による市民の利便性向上 | 予算 151,181千円 | 前年度 175,842千円 |
| 事務事業 | 1-1 DX推進事業 | 予算 149,465千円 | 前年度 174,126千円 |
| 内容 | | | |
| 1-1_D Xの推進 | | | |
| ① 行政サービスのDX推進（143,085千円（前年度164,011千円）） | | | |
| 市民ポータルサイト・サポートビラに、市民や事業者に有益なサービスを提供し、タッチポイント（デジタル上での接点）の構築と市役所のデジタル窓口の機能を整備する。 | | | |
| 【拡】ア 行かない窓口の推進（市民ポータルサイトの拡充）（うち25,533千円） | | | |
| 市民が市役所の窓口に行かなくても、行政手続きの申請から通知の受け取りまでを全てデジタルで行える「行かない窓口」を推進する。 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> デジタル申請を前提とした申請フローの見直しとマイナンバーカードを活用した確実な本人確認により、申請者が使いやすく安全なデジタル申請の整備を行う。 これまで紙媒体で行っていた各種通知をデジタル化することにより、情報伝達の速報性向上と業務効率の改善を図る。 | | | |
| イ 市民ポータルサイト等の既存サービスの改善（うち18,887千円） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 電子回覧版や学校・子育てサービスの既存サービスをより使いやすいものに改善し、さらなる利便性向上と利用者の拡大を図る。 サポートビラの既存サービスより使いやすいものに改善する。 | | | |
| 市民ポータルサイトの登録者数 | | 60,600人（R7.12月末時点） | |
| サポートビラの登録社数 | | 2,503社（R7.12月末時点） | |
| ウ 市民ポータルサイト等の運用保守（うち65,894千円） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 既存のサービス等の運用 ライセンスの取得やシステム基盤の保守管理 システムを安全かつ確実に運用するための定期バージョンアップ 多言語翻訳サービス（英語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語） | | | |
| エ 書かないワンストップ窓口等の運用・拡充（うち18,005千円） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 書かないワンストップ窓口の運用 | | | |
| 【拡】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 書かないワンストップ窓口の支所・出張所への展開 ひろしま公共施設予約システムの運用及び対象施設の拡充 広島県市町共同利用型電子申請システムの運用 | | | |

| 事業の概要 | |
|-------|---|
| オ | <p>データ分析を活用した政策立案（うち 14,766 千円）</p> <p>データを分野横断的に活用して、効果的な政策立案や事務処理の効率化に取り組むためのシステムを引き続き運用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理情報システム（GIS）等の運用 ・データ分析ツールの運用 |
| ② | <p>地域と暮らしのDXの推進（6,380 千円（前年度 10,115 千円））</p> <p>デジタル技術を身近なものとして捉え、地域や暮らしをより便利で安心・快適なものにする。</p> <p>【拡】ア デジタルネットワークの形成促進（うち 3,000 千円）</p> <p>地域DXの推進には、産学官民のデジタル人材の連携が不可欠であり、そうした人材の把握とつながりの醸成を図るため、情報共有や課題解決ワークショップ等のリアルやオンラインの交流会を開催し、ネットワーク形成に向けた機運の醸成を図る。</p> |
| イ | <p>e-スポーツを活用したまちづくり（うち 3,380 千円）</p> <p>年々市場規模が拡大する e-スポーツの魅力を活かし、地域振興や観光、健康増進などの施策に繋げるため、多くの人々が気軽に参加し楽しめる機会づくりとして、e-スポーツイベントを開催する。</p> |

| 事業の概要 | | | |
|---------------------------------------|-----|------------------|---------------------------------|
| 戦略 | 1 | DXの推進による市民の利便性向上 | 予算 151,181 千円 前年度 175,842 千円 |
| 事務事業 | 1-2 | DXを活用した広報事業 | 予算 1,716 千円 前年度 1,716 千円 |
| 内容 | | | |
| 1-2_DXを活用した広報 | | | |
| ① 最新技術を活用した広報（1,716 千円（前年度 1,716 千円）） | | | |
| ア 積極的な市民への情報発信 | | | |
| AI 技術を活用したイベント情報集約サイトを運用する。 | | | |

| 事業の概要 | | | |
|--|-----|---------------|--------------------------------|
| 戦略 | 2 | DXの推進に向けた体制整備 | 予算 16,163 千円 前年度 13,026 千円 |
| 事務事業 | 2-1 | DX体制整備事業 | 前年度 16,163 千円 前年度 13,026 千円 |
| 内容 | | | |
| 2-1_DXの推進に向けた体制整備 | | | |
| ① DXの体制整備に向けた外部人材の活用（13,908 千円（前年度 13,026 千円）） | | | |
| ア デジタル社会推進官の配置（うち 10,486 千円） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員：週 4 日勤務 ・DXの推進のための庁内調整や専門知識を活かした助言等を行う。 | | | |

| 事業の概要 | |
|-------|---|
| イ | D Xデザイナー等の活用（うち 3,422 千円） ・民間企業に勤務の専門人材をD Xデザイナーとして活用することで市内D Xの推進を図る。 |
| ② | D X人材の育成（2,255 千円（前年度 0 千円）） |
| 【新】ア | D X人材の育成等（うち 2,255 千円） ・生成A I等の利用を前提とした業務改革研修により、実業務プロセスへA I実装と、業務の抜本的な見直しを行える職員を育成する。 |

| 事業の概要 | | | |
|-------|--------------------|----|---------------------------|
| 戦略 | 3 中山間地域における生活価値の創造 | 予算 | 406,592 千円 前年度 176,473 千円 |
| 事務事業 | 3-1 未来都市形成事業 | 予算 | 406,592 千円 前年度 176,473 千円 |

内容

3-1_中山間地域における生活価値の創造

① 「生活価値創造のまち」の具現化（3,740 千円（前年度 2,800 千円））

福富地域において、地域の里山（ANAForest）の整備・活用、生活価値創出拠点として福富みらいベース（旧竹仁小学校）の整備等を行い、循環型経済の確立による地域活性化に資する取組みを進める。

ア 生活デザイン・工学研究所の運営

ホームページ・LINE 運営、その他情報発信等

イ 里山活用プログラムの組成・運用

地域住民等とともに取り組む里山活用プログラムの組成や活動実施

ウ 拠点施設（福富みらいベース）改修整備に係る什器等の配置検討

② 福富みらいベースの整備（390,466 千円（前年度 165,609 千円））

福富みらいベースを地域の拠点施設として整備するための工事を行う。

ア 福富みらいベース改修工事（うち 353,753 千円）

・福富みらいベース改修工事監理業務（完了払分）

・福富みらいベース改修工事（完了払分）

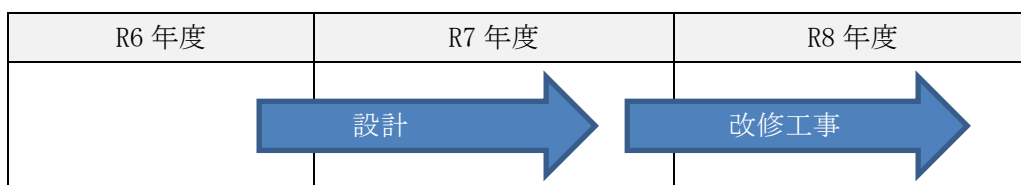
イ 福富みらいベース Wi-Fi 関係工事（うち 19,312 千円）

公衆無線 LAN 等の整備

ウ 福富みらいベース備品購入等（うち 17,401 千円）

レーザー加工機、パソコン、什器等の購入

<事業スケジュール（福富みらいベースの整備）>



事業の概要



福富みらいベースに改修予定の旧竹仁小学校

- ③ 福富みらいベース稼働等に係る経費（5,778千円（前年度2,262千円））
福富みらいベースの稼働・運営に必要な浄化槽、貯水槽、消防設備等の維持管理、電話回線使用料、機械警備等を行う。
- ④ その他の運営に係る経費（6,608千円（前年度5,802千円））
 - ・旅費等
 - ・地域活性化起業人制度による派遣受け入れに係る負担金
 - ・会計年度任用職員（福富みらいベース事務補助員）報酬等

事業の概要

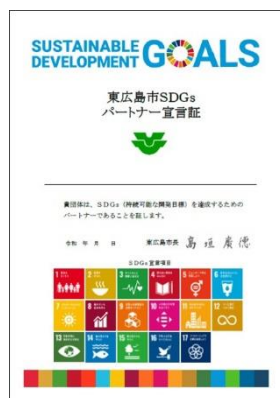
| | | | | | |
|------|--------------|----|---------|-----|---------|
| 戦略 | 4 SDGsの推進 | 予算 | 6,461千円 | 前年度 | 6,529千円 |
| 事務事業 | 4-1 SDGs促進事業 | 予算 | 6,461千円 | 前年度 | 6,529千円 |

内容

4-1_SDGsの促進

- ① 官民共創の推進（SDGs推進パートナー支援）
 (2,067千円（前年度1,983千円））
 SDGs推進パートナーとの連携・支援をはじめとした官民共創によりSDGsを推進することで、社会課題・地域課題の解決を図る。
 - ア 「SDGs推進アドバイザー」を活用した伴走型支援（うち567千円）
 - ・企業、団体が、活動にSDGsをどう活かしていくかを考えるためのセミナー等の実施
 - ・企業、団体におけるSDGsに資する具体的なアクションプラン作り等の支援
 - イ パートナーによるSDGs活動支援（うち1,500千円）
 - ・SDGs推進パートナーが他のパートナーと連携して行うSDGs推進に資する取組みに対し、活動補助金による支援の実施
- ② SDGs特設サイトの運用（3,036千円（前年度2,937千円））
 - ・SDGs推進パートナーによる取組みの見える化（インタビュー記事の掲載等）、パートナー同士のマッチング促進のための特設サイトの運用

事業の概要



東広島市SDGsパートナー宣言証

- ③ 市民への啓発（693千円（前年度596千円））
- ・SDGs啓発グッズの作成のほか、学校等への出前講座やSDGsをテーマとしたセミナー等の実施



出前講座

- ④ 運営に係る経費（665千円（前年度1,013千円））
- ・職員研修、旅費、消耗品費等